コミュニティ・スクール新聞

発行所　藤枝中学校区学校運営協議会事務局

5年目を迎えたコミュニティ・スクール

令和3年度から始まった藤枝中学校区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）も本年度で5年目を迎えます。5月27日（火）、本年度の委員の方々が藤枝中学校に集まり、第1回学校運営協議会を開催しました。

学校運営協議会委員紹介

柳本雅弘（藤枝中学校長）・杉本好基（藤枝小学校長）・冨田文成（藤枝中央小学校長）・中野明子（稲葉小学校長）・富岡良寛（藤枝地区自治会代表）・大塚克明（稲葉地区自治会代表）・横井美保子（藤枝交流センター長）・小川聡（稲葉交流センター長）・岩﨑豊（藤枝中学校PTA会長）・増田英里（稲葉小学校PTA会長）・梅澤収（静岡大学名誉教授）・堀井啓幸（常葉大学名誉教授）・鈴木桂子（清水屋取締役）・横山秀雄（静岡新聞相談役）・興津博文・塚本一弘（共にコミュニティ・スクールディレクター）以上16名で本年度の学校運営協議会を進めて参ります。

コラム

藤枝の市（いち）

京と鎌倉を往復する旅を記した鎌倉時代の紀行文『海道記（かいどうき）』には貞応2年（1223年）4月10日のこととして『藤枝の市（いち）』と書かれています。藤枝には市場が立ち、交易する人々で賑わっていたことが知られています。藤枝の市は、鬼岩寺（寺伝では神亀3年〈726年〉創建）の門前に発達した市と推定され、後に江戸時代の藤枝宿では「木町」に発展していったと考えられています。

会長・副会長選任

全学校運営協議会委員参加の下、会長には藤枝地区自治会代表の富岡良寛氏、副会長には稲葉地区自治会代表の大塚克明氏が選任されました。

学校経営方針の提案と承認

小中4校から各校の学校経営方針が説明され協議の中で承認されました。

コミュニティ・スクールについての説明

コミュニティ・スクールとは学校運営協議会を設置している学校であることや地域と学校をつなぐ仕組みであり『協働』がキーワードとなる法的に位置付けられた仕組みであることなどを確認しました。

委員からの主な意見

・小中一貫教育の横断幕などの作成費用などについての確認をしたい。

・地域の子どもは地域で育てたい。

・地域の歴史を地域の方々や子どもが知らないのではないかと思う。若い世代に伝えていかなくてはいけないと思う。

・スマホやタブレットの使用により即座に答えを出せるようになったが、中途半端でも分からないことを悩む時間も大切なのではないか。

・少子化が急激に進み社会そのものを考え直していかなければならないのではないか。子どもを育てるということは地域そのものの問題である。大人が本腰を入れなければいけない。

・保幼こども園小中の連携がとても大切である。

・この会には高い見識をお持ちの方々が多いので、その力を形にしていけるのではないか。